

福井の秋を

さがしてみませんか

福井の生きもの歳時記シート

うらの里山里海湖写真コンテスト
「秋の里山里海湖賞」受賞作品
石亀 嶽 氏「秋祭り」

毎月抽選で
20名の方に
季節の苗木
プレゼント
応募方法は裏面に！

うらの里山里海湖写真コンテスト
応募作品
原田 寿 氏「収穫の秋」

二十四節気「白露（はくろ）」：9/8 白露が葉に宿る。

第四十三候 草露白
(くさのつゆしろし)

9/8～9/12
朝夕の涼しさが際立つようになり、草に降った露が白く光って見えることです。

第四十四候 鶺鴒鳴
(せきれいなく)

9/13～9/17
セキレイが鳴き始めるころ。セキレイのチチチチチという高い鳴き声に聞き覚えのある人多いはずですよ。

第四十五候 玄鳥去
(つばめさる)

9/18～9/22
春に飛来したツバメが子育てを終え、南へ帰っていくころ。田畑の害虫を食べてくれる益鳥として親しまれています。

セグロセキレイ



ツバメ



ヒガンバナ

雑節「彼岸（ひがん）」：9/23

秋分の日を中日と下7日間を秋の彼岸といいます。墓参りや法要の営み、先祖を供養します。ちょうどこのころに咲くマンジュシャゲは、天に向かって咲く赤い花という意味で、別名をヒガンバナといいます。

二十四節気「秋分（しゅうぶん）」：9/23

春分と同じで、昼と夜の長さがほぼ同じになります。秋分後は、夜の時間が長くなっていきます。

第四十六候 雷乃収声
(かみなりすなわちこえをおさむ)

9/23～9/27
雷が鳴らなくなるころ。春分に始まり夏の間鳴り響いた雷もなりをひそめ、かわりにうろこ雲が現れるようになります。

第四十七候 蟄虫坏戸
(むしかれてとをふさぐ)

9/28～10/2
虫たちが土にもぐり、入口の戸をふさぐころ。冬ごもりの支度をする時期です。冬支度は虫たちの方が早いようです。

第四十八候 水始涸
(みずはじめてかる)

10/3～10/7
田んぼの水を抜き、稲刈りの準備をすること。井戸の水が枯れ始めるころとの説も。



カマキリのたまご

二十四節気 (にじゅうしせつき) と七十二候 (しちじゅうにこう) とは・・・

「二十四節気」は、太陽の動きに合わせて1年を24等分し、季節の変化をその期間に見られる生きものの様子や天候などで表したものです。

季節の目安となる二十四節気は、農作業や毎日の暮らしに欠かせないものでした。より細かく季節の移り変わりをつかむために、二十四節気のそれぞれの期間を3等分したものが「七十二候」です。

さらに日本では、二十四節気に加え、「八十八夜」や「入梅」「二百十日」など、農作業の目安としていた「雑節」を取り入れました。

なお、二十四節気の日付は、国立天文台の観測結果などをもとに決められています。

二十四節気「寒露（かんろ）」：10/8

秋が深まり、山の木の葉も紅葉し始めるころです。穀物の収穫で一番忙しい時期でもあります。

第四十九候 鴻雁来 (こうがんきたる)

10/8～10/12

雁がわたってくるころ。春先に北へ帰っていった雁たちが、再びやってきます。



マガン

第五十候 菊花開 (きくのはなひらく)

10/13～10/17

菊の花が咲き始めるころ。旧暦では重陽（ちょうよう）の節句の時期で、菊で長寿を祈願しました。秋の風物詩たけふ菊人形は10/2から11/8まで開催されます。



第五十一候 蟋蟀在戸 (きりぎりすとにあり)

10/18～10/22

戸口で秋の虫が鳴くころ。昔はコオロギのことをキリギリスと呼んでいたようです。



コオロギ

二十四節気「霜降（そうこう）」：10/23

秋も終わりに近づき、朝には霜が降りてくるころです。山が紅葉して、美しい赤色や黄色に染まります。

第五十二候 霜始降 (しもはじめてふる)

10/23～10/27

山里に霜が降り始めるころ。草木や作物を枯らす霜を警戒する時期です。

第五十三候 霎時施 (かさめときどきふる)

10/28～11/1

ときどき小雨が降るころ。「霎」を「しぐれ」と読むことも。ひと雨ごとに気温が下がります。

第五十四候 楓蔦黄 (もみじつばきば)

11/2～11/6

カエデやツタの葉が色づくころ。晩秋の山々は赤や黄に彩られ、紅葉狩りの季節です。



←川込池の紅葉



九頭竜湖の紅葉→

時節に見られる生きものの情報を募集します！

人の営みや生きものが季節に応じて移ろう様子を表す二十四節気（にじゅうしせつき）や七十二候（しちじゅうにこう）、雑節、五節句に出てくる生きものや風物詩を、実際に見たり、聞いたり、体験したりして、みんなで共有してみませんか。

里山里海湖研究所では、二十四節気などの歳時記に見られる時節の生きものなどの情報を募集します。集められた情報はホームページ上に公開し、季節の話題が、日常会話に自然と出てくる生活を県民の皆様といっしょに作り出していきたいと考えています。

それにより、きっと季節の移ろいを敏感に感じられるようになり、ふるさとの自然を慈しむことができるようになるはずです。

福井県里山里海湖研究所ホームページ：<http://satoyama.pref.fukui.lg.jp>

この「ふくい生きもの歳時記シート」に掲載されている時節の生きものについて、見つけた日と場所をメール、FAX、郵送で里山里海湖研究所へ報告してください。

情報を提供していただいた方の中から、毎月抽選で20名の方に季節の苗木をプレゼントします。

見つけた生きもの	
氏名	
住所 (連絡先)	
調べた(見た)日	年 月 日
見つけた場所 (住所や目印など、できるだけ具体的に記入してください。)	
一言感想など	

※できるだけ写真も添えて送付してください。

※提供いただいた情報は、里山里海湖研究所のホームページに掲載します。

送り先： 福井県里山里海湖(さとやまさとうみ)研究所

【郵送】〒919-1331 三方上中郡若狭町鳥浜122-31-1

【FAX】0770-45-3680

【E-mail】satoyama@pref.fukui.lg.jp